

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

基本財産である投資有価証券

期末日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は移動平均法により算定）によっている

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は定率法によっている

(3) 消費税等の会計処理

税込方式によっている

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次の通りである

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	1,435,900,000	95,300,000	0	1,531,200,000
投資有価証券	655,500,000	270,750,000		926,250,000
小計	2,091,400,000	366,050,000	0	2,457,450,000
特定資産				
第4条基金	65,000,000	0	65,000,000	0
周年記念準備金	15,000,000	5,000,000	0	20,000,000
小計	80,000,000	5,000,000	65,000,000	20,000,000
合計	2,171,400,000	371,050,000	65,000,000	2,477,450,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次の通りである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
預金	1,531,200,000	(1,302,700,000)	(228,500,000)	—
投資有価証券	926,250,000	(926,250,000)	—	—
小計	2,457,450,000	(2,228,950,000)	(228,500,000)	—
特定資産				
第4条基金	0	—	0	—
周年記念準備金	20,000,000	—	(20,000,000)	—
小計	20,000,000	—	(20,000,000)	—
合計	2,477,450,000	(2,228,950,000)	(248,500,000)	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次の通りである

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
備品	280,560	217,821	62,739